アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

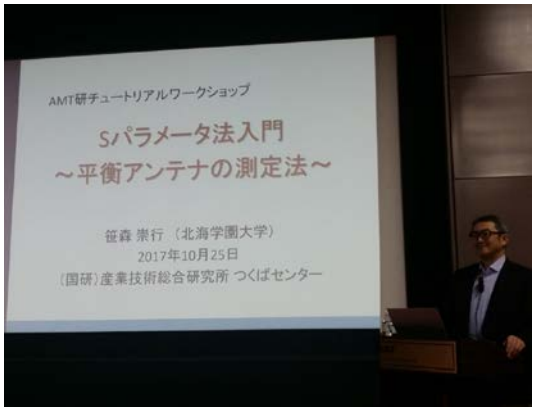
No.130/2017 年 12 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第130号をお届けします.

【1】10月一種研開催報告

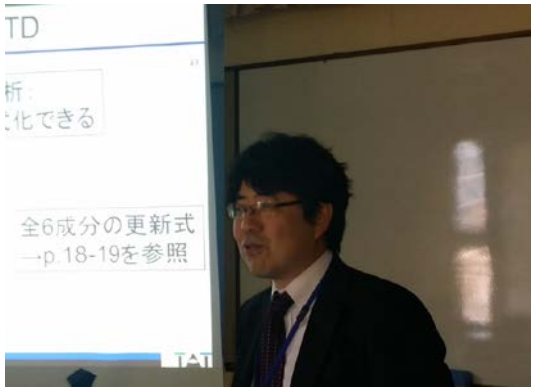
10/19(木)・20(金)に，八戸市商工会館で開催されました．一般講演が6件，学生主体のA・P研学生セッションが2セッション6件，チュートリアル講演が1件，特別講演2件の合計15件の発表がありました．学生セッションも定着してきましたね．オーガナイザの樋口弘さん，座長の入江寿憲さんはじめ学生の皆さん，お疲れ様でした．とてもいいセッションでした．次世代を担う若手の交流をこれからも深めていってください．チュートリアル講演は，富山大の本田和博先生に「次世代移動通信端末のためのOTA評価」というタイトルでご講演いただきました．OTA測定はこれからの大きな潮流として発展していくと思います．さらなる新しい測定法へのチャレンジに今後も期待しています．また，URSI-F特別講演として，東洋大の伊藤繁夫先生に「ランダム媒質内における電磁波の多重散乱」を講演いただきました．ハンズアウトをご用意いただき，難しい内容を易しく丁寧に解説いただきました．さらに，IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演として八戸工大の小坂谷壽一先生に「伝統音楽(津軽三味線)保存用自動採譜装置の研究」を講演いただきました．伝統芸能の伝承危機に対してハイテクで解決することを精力的に推進されており各種取材映像を交えて語っていただきました．会場の都合で生演奏を聴けなかったことがとても残念でした．分野は異なりますが，アンテナ・伝搬技術の伝承にも通じる切実な問題を斬新な手法で切り開いていく点で大変参考になりました．AP研として技術伝承に真剣に取り組んでいきたいと，身を引き締めた次第です．

【2】二種研AMT研開催報告



10/24(火)に，産総研で5件の一般講演と施設見学会が，翌25(水)に，北海学園大の笹森崇行先生のチュートリアルワークショップ「Sパラメータ法入門　～平衡アンテナの測定法～」が開催されました．現在，AMT研では2018年度の活動計画を策定中です．測定関係の方，離島が好きな方，是非ご期待ください!!

【3】WS-R22開催報告



10/26(木)に，尼崎中小企業センターで東京農工大の有馬卓司先生によるWS-R22「FDTD法　基礎から最新技術まで」が開催されました．初回開催を含めて当初計画数の聴講者に受講いただきテキストも完売しました(テキスト単独販売は実施していません)．次回開催される場合には，講師らの出版教科書が使用されるかも知れませんね・・・．

準備中のWSも着々と進んでおり，春から一大WSシリーズとして順次開催できる見込みです．また，過去のWSテキストを希望される方のために，小規模再開催WSの要望を募っています．下記AP研執行部アドレスまで連絡ください．

【4】2018年信学会総合大会開催&投稿案内

3/20(火)～23(金)に，東京電機大で開催されます．シンポジウムテーマは「コネクテッドカーを支えるアンテナ・伝搬技術」です．1/10(水)が締切ですのでご投稿ください!!

【5】今後の一種研開催案内

次回は，1/18(木)・19(金)に京都・ATRにて開催されます．WPT研と併催で，電波伝搬オーガナイズドセッションがあります．2月は，東京・構造研で企業特集が企画されています．企業の皆さん，この機会に研究発表をされてはいかがでしょうか．3月は群馬・草津温泉，4月はまたまた東京・・・ですがなんと八丈島開催です．3か月連続で東京支部管内ですが何とも多様性に富んでいますね．次号において，2018年度一種研年間開催計画をお知らせする予定です．

【6】はたらくおじさん「アンテナの表彰委員会編」

今回の「はたらくおじさん」のコーナは，表彰委員会の紹介です．AP研表彰委員会は，その名の通り，AP研内の表彰活動を担当しています．現在AP研で行っている表彰は，

・功労賞　AP研執行部や各種委員会活動に貢献され退任された方の表彰
・活性化貢献賞　年度内のAP研(二種研を含む)で最多回数の発表をされた方の表彰
・奨励賞　半期の中で優秀な発表をされた若手研究者(35歳以下)および学生研究者(修士以下)の表彰
・優秀論文賞　AP関連論文特集の優秀論文の表彰

の4つです．これらの賞は，AP研の各種活動をさらに活性化しようという目的で設置されており，6月および12月のAP研で表彰式があります．賞金付きのもあります!!

皆さんの研究活動の目標の一つにして頂けると幸いです．詳しくはAP研選奨規程をご覧下さい．また、これまでの受賞者がHPに掲載されていますのであわせて御覧下さい．このような表彰を円滑に進めるために，表彰委員会では，表彰制度の整備，受賞候補者の選定，対象範囲の確認，などの作業を担当しています．

上記AP研における表彰が表彰委員会のメイン活動ですが，それに加えて，学会全体の賞(業績賞・功績賞・教育関連の諸賞など)に対して，AP研の活動で貢献のあった方を推薦する活動も進めています．

AP研の表彰活動に関して何かご意見などありましたら是非表彰委員会まで(AP研幹事にお伝え下さい)．

【7】副委員長の戯言「アンテナのある風景」～飛行機のある風景～

以前は，航空機での離発着時の電子機器使用は禁止されていましたが，近年，規制が緩和されました．ゲーム機やPCで送信機能をOFFにすれば使用できます．私は，GPSロガーで飛行軌跡を取りますが，そのためには窓際席が必須です．しかし，最新航空機では窓際であってもGPS受信ができないようです．電波的にもシールド特性が向上しているのでしょうね．これを知ってから，極力その機種には搭乗しないようにしています．

さて，仕事で出張した際のこと，早朝の那覇→羽田便到着の際に下記のような乗継便の機内呼び出しアナウンスがあり，若干，機内がざわつきました．

「xx時xx分(アナウンス時点で約10～20分後)羽田発那覇行きxxx便にお乗り継ぎの〇〇様，
地上係員までお知らせください．」

というものです．通常は直行便がない場合に羽田で乗り継いで目的地に向かうはずですが，なんと，今来たばかりの那覇に向かう直近便に搭乗する方なのです．ん?!　どうして??

【Q&A】 さて，問題です．このような方を通称，何というでしょうか?

①修行僧，②ホタル族，③鉄ちゃん

(前回の答え．前々号，前号で紹介したテレビ・中波ラジオ共用送信塔がある場所は，③沖縄豊見城です．RBC琉球放送の送信設備となります．テレビ・中波ラジオ双方を有する放送局は，NHKの他に，札幌ではHBC，STV，福岡ではRKB，KBC，沖縄ではRBCがあります．札幌のテレビ基幹局は手稲山，中波ラジオは江別にあり，福岡のテレビ基幹局は福岡タワー，中波ラジオは和白にあります．なお，神奈川県三浦半島での中波ラジオ遠距離受信に関しては，夜間には札幌のHBC，STVは良好に受信できます．福岡RKB，KBCはかなりノイジーです．RBCは干渉局がフェージングで落ち込んだ時間帯に微かに受信できる程度のようです．今時，スマホでradikoプレミアムがあるのに，わざわざ電波受信するなんて我ながらご苦労なことですね・・・．)

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　山口　良（ソフトバンク）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!!　登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/